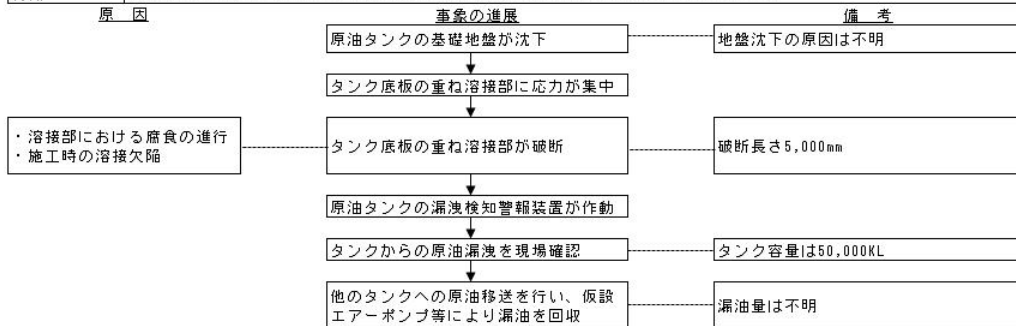




原油タンクの底板破損による原油流出

事象進展図

00134	原油タンクの底板破損による原油流出
発災年月日	1879年2月4日
装置	貯蔵・入出荷設備
運転状況	定常運転中・ルーチン作業中
特徴	溶接部の腐食と施工時の溶接欠陥との相乗作用に起因する原油タンク底板の破損、流出



再発防止対策
①底板を全面取替 ②基礎地盤を改良 ③大型タンクの油漏洩時の緊急措置要領などの防災体制の全面的改訂 ④溶接部検査の見直しと検査体制の強化

安全専門家のコメント
・施工時の受入検査、検収は非常に大事であり、何を重点にみるか予め検討しておく必要がある。 ・事故事例は格好の検討材料である。

引き金事象発生の原因
・溶接部における腐食の進行 ・施工時の溶接欠陥

事故の引き金事象
・タンク底板の重ね溶接部の破断

事故に関係した直接・間接要因
《保守・点検要因》点検・検査不良 《工事・施工要因》工事方法不適切 《調達・検収要因》メーカー施工管理不適切



原油タンクの底板破損による原油流出

添付資料・参考文献・キーワード

参考資料（文献など）

- ・高圧ガス保安協会、貯蔵施設「原油タンクの底板破損による油流出」、コンビナート事故事例集、P.250-251、1991年
- ・亀井浅道、石油タンクの強度と破損事故、第26回材料強度と破壊国内総合シンポジウム論文集、P.63、80、90、1981年

▶ 添付資料

▶ キーワード(> 同義語)

- 🔑 払出系
- 🔑 浮屋根タンク > FRT, フローティングルーフタンク, 浮き屋根タンク
- 🔑 腐食速度
- 🔑 貯蔵入出荷設備 > オフサイト設備
- 🔑 タンク > 貯槽

▶ 関連情報